

4. 中東和平の模索

a. 中東和平の動きとインティファダ

①第三次中東戦争以降、パレスティナ＝ゲリラの活動の活発化＝世界の過激派勢力と結合

- ・ [1] 事件の頻発
- ・ 1972年日本赤軍による [2] 事件、 [3] 選手村襲撃事件

↓
国際的な反発を浴びる

②1973年 第4次中東戦争

- ・ 1974年アラブ首脳会議、PLOをパレスティナ人代表として承認 → [4]]、PLOのオブザーバー資格を与える

1975～76年 [5]]内戦の発生

③1979年、エジプト [6]

[7] 大統領、 [8]]平和条約を締結
8 _____ を承認

↓
イスラエル、エジプトに [9]]を返還 (10 _____ を実施)

↓
1981年、 [11]]大統領、軍内部の [12]]グループに暗殺される

④1987年、パレスティナ住民による [13]]開始

[14]]によってイスラエル軍に抵抗→ゴム弾やプラスチック弾で鎮圧

b. オスロ合意とパレスティナ自治

①1990年、 [15]]戦争の発生→ [16]]の孤立化、支援打ち切りすすむ

湾岸戦争… [17]]大統領率いる [18]]が、隣国 [19]]の領有権を主張し侵攻したことに対し、 [20]] ([21]]大統領) をはじめとし、 [22]]やシリアなどアラブ諸国も加えた多国籍軍がイラクを攻撃、クウェートから撤退させた戦争。イラクは [23]]解放とイスラエルの攻撃を主張、これをうけ PLO が [24]]支援を打ち出したためアラブ世界からも孤立を深めた。

なおイラクは現在も反米を唱えるサダム＝フセイン政権が残存しており、アメリカのブッシュ政権はこの政権を [25]]・イラクと共に [26]]と位置づけており、今年中にも攻撃をすることが取りざたされている。

②1993年9月 [27]]大統領の仲介で [28]]成立 (パレスティナ暫定自治協定調印)

内容：29 _____

1995年11月 イスラエル [30]]首相暗殺→和平の動き低調に

1996年1月 パレスティナ自治区成立、 [31]]パレスティナ統治機構議長に就任

PLOの軍事組織が自治区の警察官に改組

c. テロと報復の連鎖へ

①こうした動きに対して、イスラエルの右派勢力 ([32]]など) 反発→和平や占領地区からの撤退に反対 → [33]]大統領もその一員

↓
[34]]首相暗殺など

パレスティナの過激派勢力 ([35]]など) → [36]]承認・和平に反対

↓
自爆テロなどによって、和平プロセスの破壊をめざす

②1999年5月 イスラエル [37]] (労働党) 首相→和平への動き活発化

2000年9月 リクード党首 [38]] が [39]] のイスラム地域に侵入

↓
これをきっかけに、パレスティナ側とイスラエル側の対立激化→ [40]] の横行

2001年2月 [41]] が首相に当選、自爆テロに対する [42]] 強化をすすめる

↓
自爆テロと報復の連鎖に、とくに2001年9月の [43]] 以後エスカレート化していく